

## 9 ヘき地医療の医療連携体制構築の取組

- ◆ ヘき地医療を担う医師等の育成・確保に取り組みます。
- ◆ ヘき地診療を支援する医療機関の機能の維持・充実に取り組みます。
- ◆ ヘき地において必要な医療を安心して受けられる医療サービスを確保します。

### 概況

#### (1) ヘき地とは

本計画において「ヘき地」とは、住民が居住している一定の範囲に医療機関が存在しない、あるいは一人しか医師がいないことにより、容易に医療機関を利用することができない地区を指します。

#### (2) ヘき地医療の現状

ヘき地では身近な医療機関が不足している上、住民の高齢化率が高く、交通機関も少ないため、容易に医療を受けることができない状況となっています。

#### (3) 本県のヘき地

県「無医地区等調査（2023（令和5）年2月）」によると、県内には、3か所の無医地区、5か所の準無医地区、5か所の無歯科医地区、4か所の準無歯科医地区、16か所の一人医師地区が存在します。

二次保健医療圏	市町村	無医地区	準無医地区	無歯科医地区	準無歯科医地区	一人医師地区	
桐生	みどり市					東町	
高崎・安中	高崎市		川浦地区・権田地区		川浦地区・権田地区	三ノ倉・水沼・岩氷・権田地区の一部	
			西部				
藤岡	神流町			旧中里村地区全域		旧中里村地区全域	
	上野村					旧万場町地区全域	
富岡	南牧村		南牧村（村内全域）		南牧村（村内全域）	上野村（村内全域）	
						月形地区、磐戸地区	
吾妻	中之条町					四万	
	長野原町			応桑・北軽井沢		六合	
	嬭恋村	万座		万座		応桑・北軽井沢	
	東吾妻町		高日向		高日向		
沼田	昭和村					東地区	
	沼田市					昭和村（村内全域）	
						南郷	
	みなかみ町	赤谷			赤谷		大楊
		入須川			入須川		
				藤原		藤原	
						笠原	
						東峰	
						恋越	
6医療圏	12市町村	3地区	5地区	5地区	4地区	16地区	
		無医地区等8地区		無歯科医地区等9地区			

#### (4) へき地医療体制

県内には、9か所のへき地診療所と3か所のへき地歯科診療所、3か所のへき地医療拠点病院が存在し、へき地診療やへき地診療への支援を行っています。

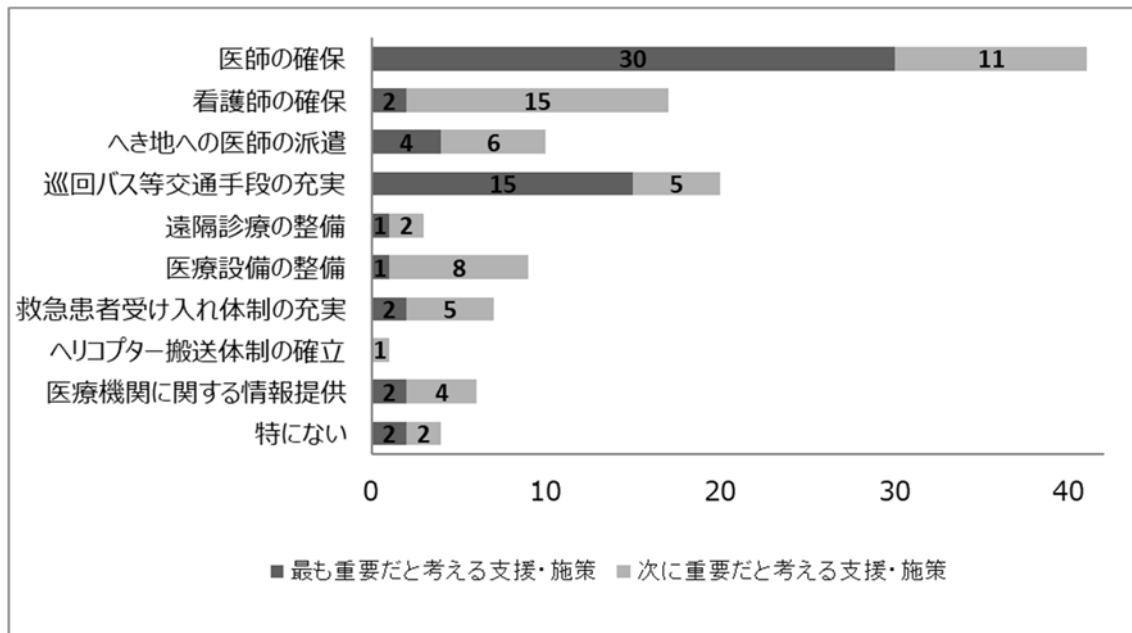
### 1 へき地における医師等の確保

#### 現状と課題

へき地では、高齢化と人口減少を背景に、地元での人材確保が困難な状況であり、へき地医療を担う医師等の育成と、安定的な確保が必要となっています。

- (1) 県「医療施設機能調査(2022(令和4)年度)」によると、「へき地の医療連携体制を構築するために、へき地医療に関与している医療機関が行政に期待する支援・施策」として、最も重要又は次に重要と考えるものについて、「医師の確保」、次いで「巡回バス等交通手段の充実」、「看護師の確保」の回答数が多く、へき地において、医師や看護師等の確保及び交通手段の確保が課題となっています。

#### へき地医療に関与している医療機関が行政に期待する支援・施策



[資料] 県「医療施設機能調査(2022年度)」

- (2) 県内には9か所のへき地診療所が設置されており、現在、このうち6か所に自治医科大学卒業医師が派遣されています。へき地における医療提供体制を確保するためにも、実情に応じた自治医科大学卒業医師の効果的な配置調整や代診医派遣等の支援が必要となっています。
- (3) へき地においては、患者の全身の状態を踏まえ、必要に応じて専門医につなぐことのできる、地域医療の担い手としての総合診療医の育成が必要となっています。

また、医師のへき地勤務に対する不安等を解消するため、へき地医療に従事する医師のキャリア形成の支援が必要となっています。

(4) 在学期間中にへき地医療に対する意欲向上や理解を深めてもらうため、医学生に対して、へき地診療所等における勤務の現状ややりがい等について周知を図るとともに、へき地医療の実習体験等の教育の機会の充実を図ることが必要となっています。

(5) 厚生労働省「衛生行政報告例（2020（令和2）年）」によると、本県の就業看護職員数（人口10万対）は1464.7人と、全国平均（1315.2人）を上回っていますが、へき地等の地域医療の確保に支障を来すことのないよう、計画的に看護職員の育成・確保を図ることが必要となっています。

### 求められる医療機能

---

#### (1) 目標

- 無医地区等のへき地医療を担う医師及び看護師等を確保すること

#### (2) 関係機関に求められる事項

- へき地診療所等へ医師を派遣すること
- へき地医療に従事する医師のキャリア形成支援を行うこと
- 医療従事者の養成過程等における、へき地の医療への動機付けを行うこと

#### (3) 関係機関の例

- 県
- へき地医療支援機構
- 医育機関
- へき地診療所
- へき地医療拠点病院

### 具体的施策

---

へき地における医療の確保のため、「第8章 医師確保計画」「第9章 保健医療従事者等の確保」に加えて、次の取組を推進します。

#### (1) 自治医科大学卒業医師の派遣

- へき地の実情に応じ自治医科大学卒業医師の派遣を効果的に行い、へき地における医師を確保します。

#### (2) 地域医療を担う医師の養成と確保

- 地域医療枠医師をはじめとする若手医師のキャリア形成を支援するため、診療科ごとに、将来を見据え、経験を積みながら高度の診療能力を幅広く身につけていくための「ぐんま地域医療リーダー養成キャリアパス」を効果的に運用し、地域医療の担い手としての総合診療医等の育成とともに、へき地医療に従事する医師等の確保に取り組みます。

- 2018（平成30）年度以降入学の群馬大学医学部地域医療枠卒業生（卒後の従事必要期間中に医師不足地域に4年以上（へき地の場合3年以上）勤務する要件が課されている）を活用し、へき地医療に従事する医師の確保に取り組みます。

**【主な事業例】**

ぐんま地域医療リーダー養成キャリアパス 等

**（3）へき地医療を担う医師の動機付け**

- 在学期間中にへき地医療に対する意欲向上や理解を深めてもらうため、医学生に対して、へき地診療所等における勤務の現状ややりがい等についての周知活動を推進するとともに、高校生に対してもへき地医療について学び関心を深める機会を提供し、へき地医療を担う医師の確保に取り組みます。

**【主な事業例】**

地域医療体験セミナー、自治医科大学学生夏期実習、医学部医学科をめざす高校生の職場体験セミナー 等

**（4）看護職員の確保と資質向上**

- ナースセンターの運営による未就業看護職員の再就業支援や、看護職の魅力伝えるイベントの開催等により看護職員を確保します。また看護職員の資質向上のため、各種研修会や講習会を実施します。

**【主な事業例】**

看護職員の就業に関する相談や職業紹介、看護力再開発講習会、就労環境改善研修、潜在看護職員復帰支援研修等の開催による看護職員の確保、看護師特定行為研修支援事業 等

## 2 へき地における保健指導

### 現状と課題

高齢化が進むへき地にあつては、生活習慣病予防や高齢者の健康管理が地域の健康維持に大きく寄与しているため、保健指導体制の充実が重要です。

- （1）無医地区等においては、市町村保健師や都市医師会が情報共有等を行いながら、地区の状況を踏まえた保健指導を提供することが必要となっています。
- （2）治療だけでなく予防の重要性が増し、保健指導の内容も多岐にわたってきていることから、保健師等の人材の確保とともに、資質の向上も必要とされています。

### 求められる医療機能

**（1）目標**

- 無医地区等において、保健指導を提供すること

**(2) 関係機関に求められる事項**

- 地区の保健衛生状態を十分把握し、地区の実情に即した活動を行うこと
- 生活習慣病予防や高齢者の健康管理を通じて、地域の人々の健康維持を支援すること

**(3) 関係機関の例**

- 市町村
- 県（保健福祉事務所）

**具体的施策**

---

**(1) へき地における保健指導の支援**

- 郡市医師会等との連携を図りながら、市町村保健師が行う生活習慣病予防等の保健指導を支援します。

**(2) 保健師等の確保及び資質向上に係る支援**

- へき地を含む市町村に勤務する保健師の確保を支援するとともに、保健指導に携わる保健師等の資質向上のため、研修会を開催します。

**【主な事業例】**

県ホームページへの市町村保健師の募集状況の掲載、及び県内養成機関への情報提供、保健師等を対象とした研修事業の実施 等

**3 へき地における医療提供**

---

**現状と課題**

---

へき地では、身近な医療機関が不足している上、交通機関も少ないため、容易に医療機関を利用できない状況にあることから、住民が必要な医療を安心して受けられる医療提供体制の確保が必要となっています。

**(1) へき地診療所等**

へき地診療所とは、概ね半径4kmの区域内の人口が原則1,000人以上で、その区域内に他の医療機関がなく、かつそのへき地診療所から最寄りの医療機関まで、通常の交通機関を利用して30分以上かかる地区に設置されている診療所で、県内にへき地診療所が9か所、へき地歯科診療所（へき地診療所において歯科が標榜科目の一つである場合を含む）が3か所設置されています。

<へき地診療所>

二次保健医療圏	市町村名	へき地診療所名	開設年月
高崎・安中	安中市	公立碓氷病院細野出張診療所	1976年5月
		公立碓氷病院入山出張診療所	1961年8月
藤岡	上野村	上野村へき地診療所	1969年7月
	神流町	万場診療所 神流町国民健康保険直営中里診療所	1986年7月 1952年5月
吾妻	中之条町	四万へき地診療所 六合診療所	1976年4月 1962年5月
	長野原町	長野原町へき地診療所	1973年2月
	東吾妻町	東吾妻町国民健康保険診療所	1952年1月

<へき地歯科診療所>

二次保健医療圏	市町村名	へき地診療所名	開設年月
藤岡	上野村	上野村へき地歯科診療所	1976年5月
	神流町	神流町歯科診療所	2013年8月
吾妻	中之条町	六合診療所	1995年9月

- (2) へき地では、へき地診療所を設置運営するほか、在宅の高齢者等を対象とした訪問診療等を行い、住民が医療を受ける機会を確保しています。
- (3) へき地診療所において、へき地の住民に対し必要な医療サービスを継続して提供できる体制を構築するため、医療機器等の整備が必要となっています。
- (4) へき地では、医療機関までの移動に相当の時間を要する地域が存在するなどの問題が生じており、住民の医療機関へのアクセスの確保が必要となっています。
- (5) 県「年齢別人口統計調査（2022（令和4）年）」によると、へき地が所在する市町村では65歳以上人口の割合が高い傾向にあり、寝たきりの高齢者等への在宅医療の提供や看取りが可能な体制の整備が求められています。
- (6) 関係機関の連携の下、住民が住み慣れた地域で医療等の提供を受けられるよう、地域包括ケアシステムの構築が課題となっています。
- (7) へき地では高齢化率が高く、通院困難者のみならず、介護を必要とする高齢者も増えており、訪問歯科診療や誤嚥性肺炎予防のための口腔ケア等の重要性が高まっています。

求められる医療機能

(1) 目標

- 無医地区等において、地域住民の医療を確保すること

**(2) 関係機関に求められる事項**

- プライマリ・ケアが可能な医師等がいること
- 訪問診療や往診を実施すること
- 緊急の内科的・外科的処置が可能なへき地医療拠点病院等と連携すること
- 歯科の訪問診療や往診を実施すること

**(3) 関係機関の例**

- へき地診療所
- 無医地区等の近隣で診療を行う医科診療所、歯科診療所

**具体的施策**

**(1) へき地診療所の施設・整備の充実**

- へき地診療所の設置や施設・設備の充実、また運営を支援することで住民が安心して医療サービスを受けられる体制を整備します。

**【主な事業例】**

医療施設・設備整備費補助、へき地診療所運営費補助 等

**(2) 医療機関へのアクセスの確保**

- へき地が所在する市町村等が、住民の医療機関へのアクセスを確保するために行う事業を支援します。

**【主な事業例】**

群馬県市町村乗合バス補助制度 等

**(3) 在宅医療等の提供体制の充実**

- 看取り等の在宅医療に対応できる医師、看護師等の人材育成を図るとともに、関係者相互の連携体制の構築を図ります。
- 関係機関の連携の下、住民が住み慣れた地域に必要な医療や介護を受けられるよう、地域包括ケアシステムの構築について、地域の実情に応じた支援を実施します。

**【主な事業例】**

在宅医療に係る人材育成、多職種連携の推進、普及啓発等を行う事業に対する補助、地域包括ケアに関する住民向け普及啓発、病院や診療所等に勤務する看護職員を対象にした「訪問看護研修会（入門プログラム）」の実施 等

**(4) へき地における歯科医療提供体制の充実**

- 無歯科医地区等が所在する市町村に対し、歯科診療所の施設・設備整備やその運営支援を通じて、歯科医療提供体制を整備します。
- 地域歯科医師会と連携を図りながら、在宅歯科医療における歯科医療提供体制の充実を支援します。

**【主な事業例】**

医療施設・設備整備費補助、へき地歯科診療所運営費補助 等

#### 4 へき地における医療提供の支援

##### 現状と課題

へき地では医療資源が不足しているため、診療を支援する医療機関の医療機能の維持・充実に加えて、広域的な連携により、24時間365日急患や重篤な患者に対応できる医療提供体制の充実が必要です。また、オンライン診療を含む遠隔医療を活用したへき地医療の支援も求められています。

##### (1) へき地医療拠点病院

無医地区等において、へき地医療支援機構の指導・調整の下に、巡回診療、へき地診療所等への医師派遣や代診医派遣等を実施しています。県内には3か所のへき地医療拠点病院が指定されており、これらの拠点病院の医療機能の維持・充実が求められています。

二次保健医療圏	拠点病院名	へき地医療活動	対象地域・診療所
吾妻	西吾妻福祉病院	・代診医派遣 ・医師派遣	●上野村へき地診療所 ●神流町国民健康保険直営中里診療所 ●万場診療所 ●四万へき地診療所 ●六合診療所 ●長野原町へき地診療所 ●東吾妻町国民健康保険診療所 等
沼田	独立行政法人国立病院機構沼田病院	へき地への巡回診療	みなかみ町（旧新治村） 入須川地区 等
	沼田脳神経外科 循環器科病院	へき地への巡回診療	みなかみ町（旧新治村） 赤谷地区、藤原地区 等

##### (2) へき地医療を支援する機関等

###### ア へき地医療支援機構

へき地保健医療政策の中心的機関として、へき地診療所等への代診医派遣調整等広域的なへき地医療支援事業の企画・調整等を行っています。

###### イ へき地保健医療対策に関する協議の場

へき地医療支援機構の専任担当医師、へき地医療拠点病院、県医師会、関係市町村、大学医学部関係者等により構成し、へき地保健医療対策にかかる総合的な意見交換・調整等を実施しています。

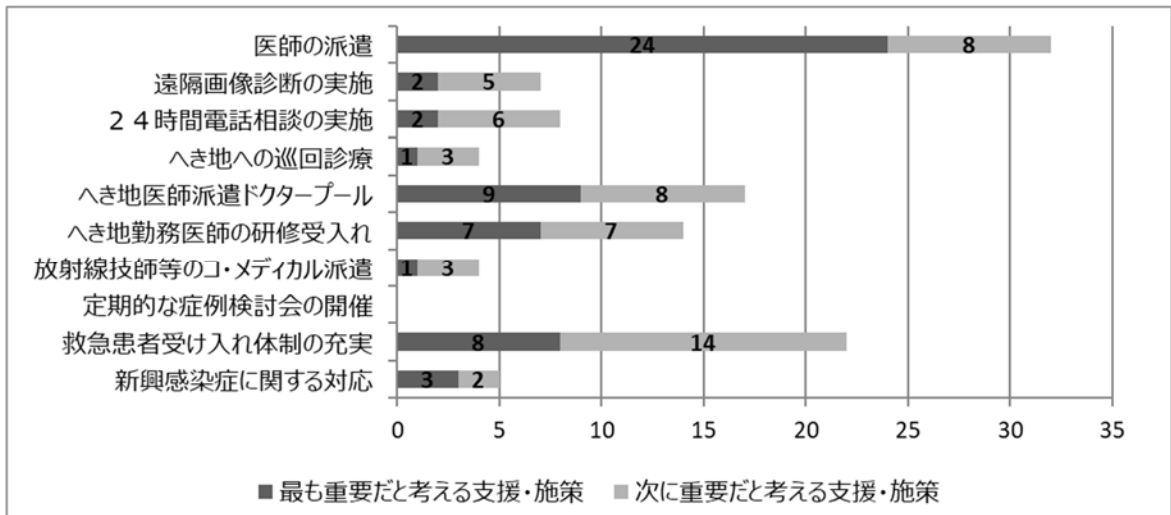
##### (3) 県「医療施設機能調査（2022（令和4）年度）」によると、県内の医療機関による「へき地医療機関を支援できる医療機関に期待する機能」として、最も重要又は次に重要



と考えるものについて、「医師の派遣」、次いで「救急患者受け入れ体制の充実」の回答数が多くなっています。

へき地医療の支援体制として、医師の派遣やへき地の医療機関では対応が困難な救急患者等の受入体制、ドクターヘリの活用や救急車による搬送体制の充実が必要となっています。また、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、新興感染症の発生やまん延時における対応も求められています。

**へき地医療機関を支援できる医療機関に期待する機能**



〔資料〕 県「医療施設機能調査(2022年度)」

**求められる医療機能**

**(1) 目標**

- へき地において、広域的な連携により24時間365日急患や重篤な患者に対応できる医療提供体制を充実すること

**(2) 関係機関に求められる事項**

- へき地診療所等からの救急患者や紹介患者の受け入れを円滑に行うこと
- 無医地区等への巡回診療により、へき地住民の医療を確保すること
- 医師の派遣や研修の受け入れなど、へき地診療所等との各種の連携に対応すること
- 高度の診療機能を有し、へき地医療拠点病院の診療活動を援助すること

**(3) 関係機関の例**

- へき地医療拠点病院
- 地域医療支援病院
- 基幹型臨床研修病院
- 高度救命救急センター、救命救急センター

## 具体的施策

### (1) へき地医療拠点病院による支援

- へき地医療拠点病院では、群馬県へき地医療支援機構と連携して、無医地区等のへき地への巡回診療やへき地診療所への代診医の派遣等に取り組みます。
- へき地医療を支援する医療提供体制を確保するため、へき地医療拠点病院の運営や医療設備整備費等の支援、また医師等の確保に向けた取組を行います。
- へき地医療拠点病院が行う巡回診療・代診医派遣について、地域の実情に応じてオンライン診療の活用が可能であることを示すとともに、遠隔医療に関する補助金による支援や好事例の紹介等による支援を行います。

#### 【主な事業例】

へき地医療拠点病院運営費補助、医療施設・設備整備費補助 等

### (2) へき地医療支援機構による支援

- 群馬県へき地医療支援機構では、へき地の住民の医療を確保するためのへき地診療所への医師派遣の調整、へき地医療従事者の医療技術向上等を図るための研修事業などを実施します。
- へき地医療支援体制の強化のため、へき地保健医療対策にかかる協議会「群馬県地域医療対策協議会へき地医療対策部会」を開催し、総合的な意見交換・調整等を実施します。

#### 【主な事業例】

へき地医療支援機構専任担当医師経費の補助、へき地医療従事者研修会の開催、  
+へき地医療対策部会の開催 等

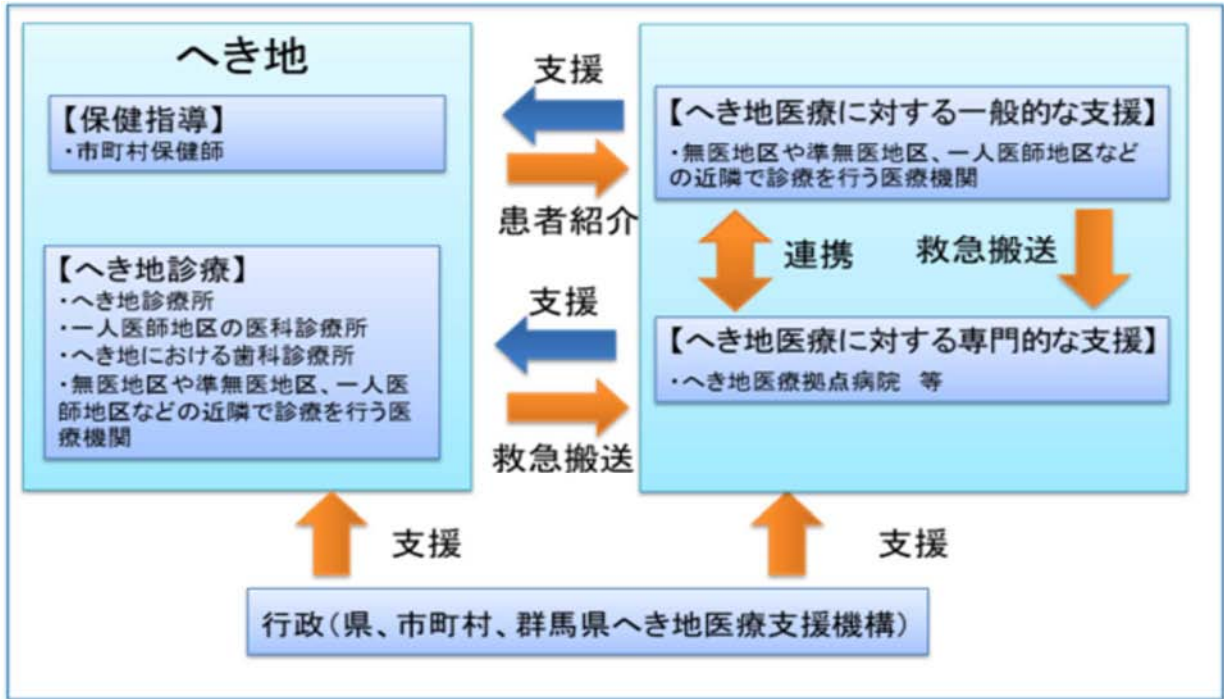
### (3) 救急患者等の搬送体制等の充実

- 重症患者やへき地の診療を担う医療機関では対応できない患者について、ドクターヘリ等を効果的に運用するとともに、関係する消防職員や医師等が過去の事例を検証すること等により関係者の資質向上に努め、救命率の向上や後遺障害の軽減等を図ります。

#### 【主な事業例】

ドクターヘリ運行経費補助の実施、症例検討会 等

へき地医療の医療連携体制



ロジックモデル

現状と課題		番号	A 個別施策
医師等の確保	<p>へき地では、高齢化と人口減少を背景に、地元での人材確保が困難な状況であり、へき地医療を担う医師等の育成と、安定的な確保が必要</p> <p>①「へき地医療に関与している医療機関が行政に期待する支援・施策」としては、「医師の確保」、「巡回バス等交通手段の充実」、「看護師の確保」の回答数が多い</p> <p>⇒医師や看護師等の確保及び交通手段の確保が課題</p> <p>②県内には9か所のへき地診療所が設置され、うち6か所に自治医科大学卒業医師を派遣</p> <p>⇒自治医科大学卒業医師の効果的な配置調整や代診医派遣等の支援が必要</p> <p>③患者の全身の状態を踏まえ、必要に応じて専門医につなぐことのできる体制整備が必要</p> <p>⇒地域医療の担い手としての総合診療医の育成が必要</p>	1	<p>(1)自治医科大学卒業医師の派遣</p> <p>(2)地域医療を担う医師の養成と確保</p> <p>(3)へき地医療を担う医師の動機付け</p> <p>(4)看護職員の確保と資質向上</p>
保健指導	<p>高齢化が進むへき地にあつては、生活習慣病予防や高齢者の健康管理が地域の健康維持に大きく寄与しているため、保健指導体制の充実が重要</p> <p>①無医地区等においては、市町村保健師や郡市医師会が情報共有等を行いながら、地区の状況を踏まえた保健指導を提供することが必要</p> <p>②治療だけでなく予防の重要性が増し、保健指導の内容も多岐にわたってきていることから、保健師等の人材の確保とともに、資質の向上も必要</p>	2	<p>(1)へき地における保健指導の支援</p> <p>(2)保健師等の確保及び資質向上に係る支援</p>
医療提供	<p>へき地では、身近な医療機関が不足している上、交通機関も少ないため、容易に医療機関を利用できない状況にあることから、住民が必要な医療を安心して受けられる医療提供体制の確保が必要</p> <p>①へき地では、へき地診療所を設置運営するほか、在宅の高齢者等を対象とした訪問診療等を行い、住民が医療を受ける機会を確保</p> <p>②へき地診療所において、へき地の住民に対し必要な医療サービスを継続して提供できる体制を構築するため、医療機器等の整備が必要</p> <p>③へき地では、医療機関までの移動に相当の時間を要する地域が存在するなどの問題が生じており、住民の医療機関へのアクセスの確保が必要</p> <p>④へき地が所在する市町村では65歳以上人口の割合が高い傾向にあり、寝たきりの高齢者等への在宅医療の提供や看取りが可能な体制の整備が必要</p> <p>⑤関係機関の連携の下、住民が住み慣れた地域で医療等の提供を受けられるよう、地域包括ケアシステムの構築が課題</p> <p>⑥へき地では高齢化率が高く、通院困難者のみならず、介護を必要とする高齢者も増えており、訪問歯科診療や誤嚥性肺炎予防のための口腔ケア等が重要</p>	3	<p>(1)へき地診療所の施設・整備の充実</p> <p>(2)医療機関へのアクセスの確保</p> <p>(3)在宅医療等の提供体制の充実</p> <p>(4)へき地における歯科医療提供体制の充実</p>
医療提供の支援	<p>へき地では医療資源が不足しているため、診療を支援する医療機関の医療機能の維持・充実に加えて、広域的な連携により、24時間365日急患や重篤な患者に対応できる医療提供体制の充実が必要である他、オンライン診療を含む遠隔医療を活用したへき地医療支援も求められている。</p> <p>①へき地医療拠点病院は、無医地区等において、群馬県へき地医療支援機構の指導・調整の下に、巡回診療、へき地診療所等への医師派遣や代診医派遣等を実施</p> <p>⇒これらの拠点病院の医療機能の維持・充実が必要</p> <p>②へき地保健医療政策の中心的機関として、へき地医療支援機構が、へき地診療所等への代診医派遣調整等広域的なへき地医療支援事業の企画・調整等を実施</p> <p>③県内の医療機関による「へき地医療機関を支援できる医療機関に期待する機能」としては、「医師の派遣」、「救急患者受け入れ体制の充実」の回答数が多い</p> <p>⇒医師の派遣やへき地の医療機関では対応が困難な救急患者等の受入体制、ドクターヘリの活用や救急車による搬送体制の充実が必要</p>	4	<p>(1)へき地医療拠点病院による支援</p> <p>(2)へき地医療支援機構による支援</p> <p>(3)救急患者等の搬送体制等の充実</p>

番号 **B 目標**

1	無医地区等のへき地医療を担う医師及び看護師等を確保すること	
	目標値	へき地診療所への自治医大卒業医師派遣応需率 へき地における学生を対象としたセミナー・実習の実施回数

2	無医地区等において、保健指導を提供すること	
	目標値	へき地医療従事者研修の実施回数

3	無医地区等において、地域住民の医療を確保すること	
	目標値	へき地診療所における通院から訪問診療への切り替え患者の応需率

4	へき地において、広域的な連携により24時間365日急患や重篤な患者に対応できる医療提供体制を充実すること	
	目標値	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療応需率 代診医師派遣要請に対する応需率

番号 **C 最終目標**

1	へき地医療の医療連携体制構築	
	目標値	へき地診療所への自治医科大学卒業医師の派遣者数
	目標値	へき地における群馬大学医学部地域医療卒卒業医師の勤務者数

2	へき地における医療提供の支援	
	目標値	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療実施回数
	目標値	へき地診療所における訪問診療、往診の実施回数

## 第4章 疾病・事業ごとの医療連携体制の構築

### 目標値一覧

分類 B：目標 C：最終	番号	指標	現状		目標	
			数値	年次	数値	年次
B	1 ①	へき地診療所への自治医大卒業医師派遣応需率	100%	2022	100%	2029
B	1 ②	へき地における学生を対象としたセミナー・実習の実施回数	2回/年	2022	2回/年	2029
B	2 ①	へき地医療従事者研修の実施回数	—	2022	1回/年	2029
B	3 ①	へき地診療所における通院から訪問診療への切り替え患者の応需率	100%	2022	100%	2029
B	4 ①	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療応需率	100%	2022	100%	2029
B	4 ②	代診医師派遣要請に対する応需率	100%	2022	100%	2029
C	1 ①	へき地診療所への自治医科大学卒業医師の派遣者数	6人/年	2022	6人/年	2029
C	1 ②	へき地における群馬大学医学部地域医療卒卒業医師の勤務者数	—	2022	2人	2029
C	2 ①	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療実施回数	156回/年	2022	156回/年	2029
C	2 ②	へき地診療所における訪問診療、往診の実施回数	1,693回/年	2022	1,764回/年	2029

## 9 へき地医療

No.	指標名	単位	県計			保健医療圏別										出典	
			年度	時点	県計	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林		
<b>へき地の現状</b>																	
1	無医地区	箇所	策定時	R5.2	3	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	無医地区等調査/群馬県 医務課	
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														
2	準無医地区	箇所	策定時	R4.10	5	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	無医地区等調査/群馬県 医務課	
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														
3	無歯科医地区	箇所	策定時	R4.10	5	-	-	-	-	1	-	2	2	-	-	無医地区等調査/群馬県 医務課	
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														
4	準無歯科医地区	箇所	策定時	R4.10	4	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	無医地区等調査/群馬県 医務課	
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														

No.	指標名	単位	県計			保健医療圏別										出典	
			年度	時点	県計	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林		
5	一人医師地区	箇所	策定時	R4.10	16	-	-	-	1	3	1	4	6	1	-	無医地区等調査/群馬県 医務課	
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														
<b>へき地診療</b>																	
6	へき地診療所の数	箇所	策定時	R3	9	-	-	-	2	3	-	4	-	-	-	へき地医療現況調査/群馬県 医務課	
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														
7	へき地診療所の医師数	人	策定時	R3	7.40	-	-	-	0.20	3.20	-	4.00	-	-	-	へき地医療現況調査/群馬県 医務課	
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														
8	へき地診療所の病床数	床	策定時	R4	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	群馬県医務課調べ	
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														
9	へき地歯科診療所の数 (※へき地診療所において、 歯科が標榜科目の一つである 場合を含む)	箇所	策定時	R3	3	-	-	-	-	2	-	1(※)	-	-	-	へき地医療現況調査/群馬県 医務課	
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														



No.	指標名	単位	県計			保健医療圏別										出典	
			年度	時点	県計	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林		
10	へき地診療所における訪問診療の実施回数	回	策定時	R3	731	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	県医務課 へき地医療現況調査 (※計画変更により指標を新規追加)
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														
11	へき地診療所における往診の実施回数	回	策定時	R3	233	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	県医務課 (※計画変更により指標を新規追加) へき地医療現況調査
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														
<b>へき地診療の支援医療</b>																	
12	へき地医療拠点病院の数	箇所	策定時	R3	3	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	へき地医療現況調査/群馬県医務課	
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														
13	へき地医療拠点病院からへき地への医師派遣実施回数 (代診含む)	回	策定時	R4	14	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	へき地医療支援機構担当医師経費補助金実績報告書	
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														
14	へき地医療拠点病院からへき地への医師派遣実日数 (代診含む)	日	策定時	R4	8.5	-	-	-	-	-	-	8.5	-	-	-	へき地医療支援機構担当医師経費補助金実績報告書	
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														

No.	指標名	単位	県計			保健医療圏別										出典		
			年度	時点	県計	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林			
15	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療実施回数	回	策定時	R4	156	-	-	-	-	-	-	-	-	156	-	-	へき地医療拠点病院運営費補助金実績報告書	
			R6															
			R7															
			R8															
			R9															
			R10															
			R11															
16	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療実日数	日	策定時	R4	78.0	-	-	-	-	-	-	-	-	78.0	-	-	へき地医療拠点病院運営費補助金実績報告書	
			R6															
			R7															
			R8															
			R9															
			R10															
			R11															
17	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療延べ受診患者数	人	策定時	R4	747	-	-	-	-	-	-	-	-	747	-	-	群馬県医師課調べ	
			R6															
			R7															
			R8															
			R9															
			R10															
			R11															
18	へき地医療支援機構からへき地への医師派遣実施回数（代診含む）	回	策定時	R4	14	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	へき地医療支援機構担当医師経費補助金実績報告書	
			R6															
			R7															
			R8															
			R9															
			R10															
			R11															
19	へき地医療支援機構における専任担当官のへき地医療支援業務従事日数	日/年	策定時	R4	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-	-	へき地医療支援機構担当医師経費補助金実績報告書	
			R6															
			R7															
			R8															
			R9															
			R10															
			R11															

No.	指標名	単位	県計			保健医療圏別										出典	
			年度	時点	県計	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林		
20	へき地における在宅歯科連携室	箇所	策定時	R4	7	1	-	-	1	1	1	-	-	1	2	在宅歯科医療連携室整備事業実績報告書	
			R6														
			R7														
			R8														
			R9														
			R10														
			R11														